



MFX-8230 / MFX-8200

MFX-5185 / V-785

MFX-5180 / V-780

取扱説明書

ソフトウェアインストール編

第 1 章 はじめに

1

第 2 章 インストールのしかた

2

目次

本書の表示について	iii
安全に関する表示	iii
操作キーとボタンの表記	iii
画面について	iii

第 1 章 はじめに

ドライバーとユーティリティの紹介	1-2
必要なシステム	1-3
各 OS への対応状況	1-4
インストーラー画面について	1-5

第 2 章 インストールのしかた

インストールのしかた (USB 接続)	2-2
インストールのしかた	2-2
プリンターの追加ウィザードでインストールする	2-10
インストールのしかた (ネットワーク接続)	2-12
インストール作業の流れ	2-12
LAN ケーブルを接続する	2-12
IP アドレスを確認する	2-13
ドライバーをインストールする	2-14
ドライバーをインストールする (Information server が装着されている場合)	2-20
ドライバーを設定する	2-27
ネットワーク共有プリンターとして使用する	2-31
IPP(Internet Printing Protocol) 印刷をする	2-33
装着オプションを設定する	2-37
テストページを印刷する	2-38
アンインストールする	2-39

本書の表示について

安全に関する表示

本書では、安全にお使いいただくために守っていただきたい事項や操作する上での重要情報に、以下のマークをつけています。

 警告	取り扱いを誤った場合に、死亡または重傷を負う可能性のある警告事項が書かれています。 安全に使用していただくために、必ずこの警告事項をお守りください。
 注意	取り扱いを誤った場合に、傷害を負う可能性または物的損害が発生する恐れがある注意事項が書かれています。安全に使用していただくために、必ずこの注意事項をお守りください。
 お願い	誤った操作によるトラブルを防ぐために、必ず守っていただきたい重要事項や制限事項が書かれています。
 補足	操作の参考情報や補足説明が書かれています。

操作キーとボタンの表記

- 〈 〉 操作パネル上のキー
(例：スタートキー → 〈スタート〉)
- [] タッチパネル上のボタンやコンピューター画面上のボタンなど
(例：画質ボタン → [画質])

画面について

本書では、特に断りがない限り MFX-5180 に給紙ユニットを 2 段装着したときの画面を使用しています。機種やオプションの装着によっては、画面が異なる場合があります。

(空白ページ)

第 1 章

はじめに

ドライバーとユーティリティの紹介	1-2
必要なシステム	1-3
各 OS への対応状況	1-4
インストーラー画面について	1-5

ドライバーとユーティリティの紹介

付属の「セットアップディスク」CD-ROM には以下のドライバーやユーティリティが含まれています。別途オプション品を装着しないと、ご使用になれないものもあります。

ドライバーまたはユーティリティ	概要
GDI プリンタードライバー	本製品をプリンターとしてお使いいただけます。
PCL6 プリンタードライバー* ¹	ページ記述言語 (PDL) の PCL5e、PCL6 に対応したプリンターとして、幅広いアプリケーションソフトからのプリントができます。 プリンターの機能を最大限にご活用していただくためには、PCL6 プリンタードライバーのご使用を推奨します。古い PCL プリンターとの互換性を維持したいときは、PCL5e ドライバーをご使用ください。
PCL5e プリンタードライバー* ¹	
TWAIN スキャナードライバー	本製品でスキャンした文書を TWAIN ボックスに保存し、TWAIN 対応のアプリケーションソフトで読み込めます。詳細については、『スキャナー・ファクス編』第 1 章の「TWAIN ボックスに蓄積する」の「TWAIN ボックスのファイルを取り出す」を参照してください。
ファクスドライバー* ²	アプリケーションソフトで作成した文書を、プリントアウトせずにコンピューターから直接ファクス送信できます。詳細については、『スキャナー・ファクス編』第 5 章の「コンピューターからファクスを送信する」を参照してください。
TiffMaker	アプリケーションソフトで作成した文書を、インターネットファクスに添付できる TIFF ファイルに変換できます。詳細については、『スキャナー・ファクス編』第 4 章の「インターネットファクスの便利な機能」の「インターネットファクス用の TIFF ファイルを作成する」を参照してください。
PDFScanMaker	本製品でスキャンした文書を、TWAIN ボックスに保存し、PDFScanMaker で PDF、TIFF、JPEG ファイルに変換して保存できます。詳細については、『スキャナー・ファクス編』第 1 章の「TWAIN ボックスに蓄積する」の「TWAIN ボックスのファイルを取り出す」を参照してください。
インフォモニター 3* ² またはインフォモニター 4* ²	本製品に発生したイベント (原稿のスキャン、文書の送受信など) を履歴として管理できるユーティリティソフトウェアです。詳細については、『ネットワーク機能・Information server 編』第 8 章の「発生したイベントを管理する (インフォモニター)」を参照してください。
スキャン to プrintモニター* ²	本製品でカラーでスキャンした文書を、お使いのネットワークに接続されたプリンターでプリントできます。詳細については、『スキャナー・ファクス編』第 8 章の「スキャン to プrintモニターを設定する」を参照してください。

* 1 使用するには PCL 拡張キット (オプション品) が必要です。

* 2 使用するには Information server (オプション品) が必要です。

必要なシステム

本製品をプリンターやスキャナーとして使うためには、以下の仕様を満たしたコンピューターをお使いください。

コンピューター	下記の OS が動作する IBM PC/AT 互換機
対応 OS * ¹	Windows 10 Enterprise (x86/x64) Windows 10 Education (x86/x64) Windows 10 Pro (x86/x64) Windows 10 Home (x86/x64) Windows 8 (x86/x64) Windows 8 Pro (x86/x64) Windows 8 Enterprise (x86/x64) Windows 7 Home Premium (x86/x64) Windows 7 Ultimate (x86/x64) Windows 7 Professional (x86/x64) Windows 7 Enterprise (x86/x64) Windows Server 2016 Datacenter * ² Windows Server 2016 Standard * ² Windows Server 2016 Essentials * ² Windows Server 2012 R2 Datacenter * ² Windows Server 2012 R2 Standard * ² Windows Server 2012 R2 Essentials * ² Windows Server 2012 R2 Foundation * ² Windows Server 2012 Datacenter * ² Windows Server 2012 Standard * ² Windows Server 2012 Essentials * ² Windows Server 2012 Foundation * ² Windows Server 2008 R2 Standard (x64) * ² Windows Server 2008 R2 Enterprise (x64) * ² Windows Server 2008 R2 Datacenter (x64) * ² Windows Server 2008 Standard (x86/x64) * ² Windows Server 2008 Enterprise (x86/x64) * ² Windows Server 2008 Datacenter (x86/x64) * ² Windows Server 2003 Datacenter x64 Edition * ³ Windows Server 2003 Datacenter Edition * ³ Windows Server 2003 Enterprise x64 Edition * ³ Windows Server 2003 Enterprise Edition * ³ Windows Server 2003 Standard x64 Edition * ³ Windows Server 2003 Standard Edition * ³ Windows Vista Home Basic (x86/x64) * ⁴ Windows Vista Home Premium (x86/x64) * ⁴ Windows Vista Ultimate (x86/x64) * ⁴ Windows Vista Business (x86/x64) * ⁴ Windows Vista Enterprise (x86/x64) * ⁴
ハードディスクの空き容量	50 MB 以上
物理インターフェイス	Ethernet 10Base-T/100Base-TX/1000Base-T USB 2.0(High Speed)
ネットワークプロトコル	HTTP(Web ブラウザーおよび TWAIN ドライバー) Standard TCP/IP(LPR/LPD、Port9100)、IPP * ⁵

* 1 日本語版以外の OS では動作しません。2018 年 7 月現在の情報です。

最新の対応 OS については、弊社ホームページでご確認ください。(最終ページ)

* 2 Windows Server 2016、Windows Server 2012 R2、Windows Server 2012、Windows Server 2008 R2、Windows Server 2008 の場合、スキャナー機能はネットワーク接続のときのみ動作します。

* 3 MFX-5180 と V-780 のみ対応しています。

* 4 MFX-5185 と V-785 は非対応です。

* 5 Information server(オプション品)装着時のみ対応。

各 OS への対応状況

コンピューターからのデータを本製品でプリントするためには、プリンタードライバーのインストールが必要です。

付属の「セットアップディスク」CD-ROM に含まれるドライバーやユーティリティーが動作するコンピューターの OS は以下のとおりです。

□ ドライバー

✓：対応している ×：対応していない

	Windows 10 Windows 8 Windows 7 Windows Vista *4	Windows Server 2016 Windows Server 2012 R2 Windows Server 2012 Windows Server 2008 R2 Windows Server 2008 Windows Server 2003 *5
GDI プリンタードライバー	✓	✓
PCL6 プリンタードライバー*1	✓	✓
PCL5e プリンタードライバー*1	✓	✓
TWAIN スキャナードライバー*2	✓	✓
ファクスドライバー*3	✓	✓

* 1 使用するには PCL 拡張キット (オプション品) が必要です。

* 2 Windows Server 2016、Windows Server 2012 R2、Windows Server 2012、Windows Server 2008、Windows Server 2008 R2 の場合、ネットワーク接続だけ対応しています。

* 3 使用するには Information server (オプション品) が必要です。

* 4 MFX-5185 と V-785 は非対応です。

* 5 MFX-5180 と V-780 のみ対応しています。

□ ユーティリティー

✓：対応している ×：対応していない

	Windows 10 Windows 8 Windows 7 Windows Vista *3	Windows Server 2016 Windows Server 2012 R2 Windows Server 2012 Windows Server 2008 R2 Windows Server 2008 Windows Server 2003 *4
PDFScanMaker *1	✓	✓
インフォモニター 3 *2 または インフォモニター 4 *2	✓	✓
スキャン to プrintモニター *2	✓	✓

* 1 Windows Server 2016、Windows Server 2012 R2、Windows Server 2012、Windows Server 2008、Windows Server 2008 R2 の場合、ネットワーク接続だけ対応しています。

* 2 使用するには Information server (オプション品) が必要です。

* 3 MFX-5185 と V-785 は非対応です。

* 4 MFX-5180 と V-780 のみ対応しています。

インストーラー画面について

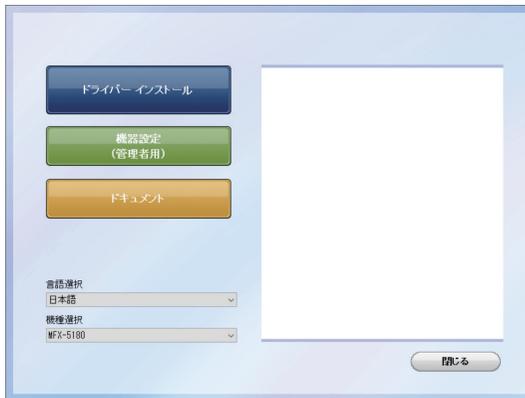
セットアップディスク CD-ROM を挿入すると、インストーラー画面が表示されます。インストーラー画面からは、ドライバーのインストール、機器設定画面の表示、取扱説明書の表示をすることができます。

ドライバーのインストールに関しては本書の第 2 章を、取扱説明書の表示に関しては、『基本編』の「CD-ROM 内の取扱説明書を見る」を参照してください。

ここでは、機器設定画面の表示方法を説明します。

補足

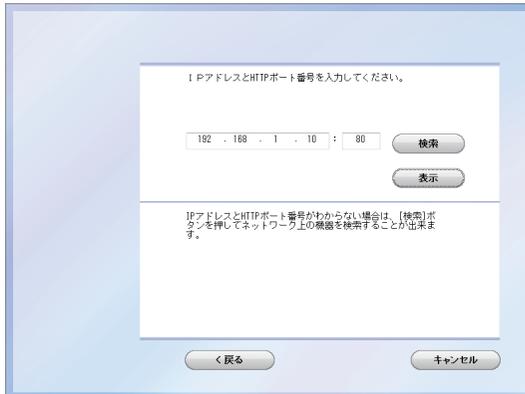
- 本製品とコンピューターを USB で接続している場合は、機器設定画面の表示はできません。
- あらかじめ、本製品をネットワークに接続してください。(→ 2-12 ページ)



- 1** コンピューターの電源を入れ、「セットアップディスク」CD-ROM を入れます。
 - ・インストールプログラムが自動的に起動し、インストールメニュー画面が表示されます。
 - ・自動再生の画面が表示されたときは、[InstMenu.exe の実行] をクリックします。
 - ・「ユーザーアカウント制御」の画面が表示されたら、[許可] (または [はい]) をクリックします。
 - ・インストールプログラムが自動的に起動しない場合は、「セットアップディスク」CD-ROM 中の「InstMenu.exe」アイコンをダブルクリックしてください。
- 2** [機器設定 (管理者用)] ボタンをクリックします。

3 本製品の IP アドレスを入力し、[表示] をクリックします。

- ・Web ブラウザーが起動し、設定の一覧が表示されます。
- ・管理者パスワードを設定されているときは、管理画面へのログイン画面が表示されます。管理者パスワードを入力し、[ログイン] をクリックします。
- ・[検索] をクリックして、ネットワーク上にある本製品を検索することもできます。詳しくは、「ネットワーク上の機器を検索する」(2-26 ページ) を参照してください。



The screenshot shows a web interface for searching devices. At the top, it says "IPアドレスとHTTPポート番号を入力してください。" (Please enter the IP address and HTTP port number). Below this is a form with a text input field containing "192.168.1.10" and a port input field containing "80". To the right of the port field is a "検索" (Search) button. Below the search button is a "表示" (Display) button. At the bottom of the form, there is a note: "IPアドレスとHTTPポート番号がわからない場合は、[検索]ボタンを押してネットワーク上の機器を検索することができます。" (If you do not know the IP address and HTTP port number, you can search for devices on the network by pressing the [Search] button). At the bottom of the entire interface are two buttons: "戻る" (Back) and "キャンセル" (Cancel).

4 機器設定を行います。

詳細は『ネットワーク機能・Information server 編』を参照してください。

第 2 章

インストールのしかた

インストールのしかた (USB 接続)	2-2
インストールのしかた	2-2
プリンターの追加ウィザードでインストールする	2-10
インストールのしかた (ネットワーク接続)	2-12
インストール作業の流れ	2-12
LAN ケーブルを接続する	2-12
IP アドレスを確認する	2-13
ドライバーをインストールする	2-14
ドライバーをインストールする (Information server が装着されている場合)	2-20
ドライバーを設定する	2-27
ネットワーク共有プリンターとして使用する	2-31
IPP(Internet Printing Protocol) 印刷をする	2-33
装着オプションを設定する	2-37
テストページを印刷する	2-38
アンインストールする	2-39

インストールのしかた (USB 接続)

ここでは、USB ケーブルで本製品とコンピューターを接続してお使いになる場合のインストール方法を説明します。

ネットワーク接続でお使いになる場合は、「インストールのしかた (ネットワーク接続)」(2-12 ページ) を参照してください。

インストールのしかた

！お願い

- ドライバーのインストールが終わるまで、USB ケーブルを接続しないでください。
- ドライバーをインストールするには、コンピューターの管理者または管理者に属するユーザーとしてログオンしてください。
- Windows 10、Windows 8、Windows 7、Windows Server 2016、Windows Server 2012 R2、Windows Server 2012、Windows Server 2008 R2 または Windows Server 2008 にインストールする場合は、デバイスのインストール設定を変更してください。詳しくは、「デバイスのインストール設定を変更する」(2-2 ページ) を参照してください。
- PDFScanMaker をインストールするときは、USB ドライバーをインストールする必要があるため、必ずスキャナードライバーをインストールしてください。

□ デバイスのインストール設定を変更する

Windows 10、Windows 8、Windows 7、Windows Server 2016、Windows Server 2012 R2、Windows Server 2012、Windows Server 2008 R2 または Windows Server 2008 で USB 接続のインストールをする場合、ドライバーをインストールする前に以下の設定にしておくと、インストールにかかる時間を短くすることができます。

！お願い

ドライバーのインストールが完了したら、デバイスのインストール設定を元に戻してください。

Windows 10、Windows 8 または Windows Server 2016/2012 R2/2012 の場合

- 1 「デスクトップ」画面にし、「エクスプローラ」を起動します。
Windows 10/Windows Server 2016 の場合は、「スタート」メニューを右クリックし、[エクスプローラー] を選択します。
- 2 「PC」または「コンピューター」を右クリックして [プロパティ] をクリックします。
- 3 ナビゲーションウィンドウにある「システムの詳細設定」をクリックします。
- 4 「ハードウェア」タブをクリックし、[デバイスのインストール設定] をクリックします。
- 5 「いいえ、実行方法を選択します」をクリックし、「Windows Update からドライバーソフトウェアをインストールしない」または「いいえ (デバイスが適切に機能しない可能性があります)」をクリックします。
- 6 [変更の保存] ボタンをクリックします。
- 7 「システムのプロパティ」を閉じます。

Windows 7 または Windows Server 2008/2008 R2 の場合

- 1 「[スタート] メニューから「コンピューター」を右クリックして、「プロパティ」を選択します。
- 2 「システムの詳細設定」をクリックします。
「ユーザーアカウント制御」の画面が表示された場合は、[はい] をクリックします。
- 3 「ハードウェア」タブをクリックし、[デバイスのインストール設定] をクリックします。
- 4 「いいえ、実行方法を選択します」を選択し、「Windows Update からドライバー ソフトウェアをインストールしない」を選択します。
- 5 [変更の保存] をクリックします。

□ 『新しいハードウェアの検出ウィザード』または『デジタル署名が見つかりませんでした』の画面が表示されたら

本製品を USB ケーブルでコンピューターに接続したときに、「新しいハードウェアの検出ウィザード」または「デジタル署名が見つかりません」の画面が表示された場合は、以下の操作を行ってください。

- 1 「新しいハードウェアの検出ウィザード」が表示されたら、「いいえ、今回は接続しません」を選択して、[次へ] をクリックします。
- 2 「一覧または特定の場所からインストールする (詳細)」を選択して、[次へ] をクリックします。
- 3 「次の場所を含める」を選択し、[参照] で CD-ROM ドライブを指定します。
「リムーバブル メディア (フロッピー、CD-ROM など) を検索」のチェックは外します。
- 4 [次へ] をクリックします。
「ハードウェアのインストール」画面が表示された場合は、[続行] をクリックしてください。
- 5 以下の画面が表示されたら [完了] をクリックします。



- 6 再度「新しいハードウェアの検出ウィザード」が表示されたら、手順 1 ～ 5 を繰り返します。

□ ドライバーをインストールする

1 コンピューターの電源を入れ、「セットアップディスク」CD-ROM を入れます。

- ・インストールプログラムが自動的に起動し、インストールメニュー画面が表示されます。
- ・インストールプログラムが自動的に起動しない場合は、「セットアップディスク」CD-ROM 中の「InstMenu.exe」アイコンをダブルクリックしてください。

License	2011
Manual	2011
Package	2011
Resource	2011
Utility	2011
Autorun.inf	2009
InstMenu.exe	2011
setting.ini	2011
Version.txt	2011

お使いのパソコンの設定によっては、「セットアップディスク」CD-ROM 挿入時に以下のような画面が表示されます。

- ・メディアの自動再生動作選択のメッセージ画面が表示されたときは、このメッセージをクリックします。



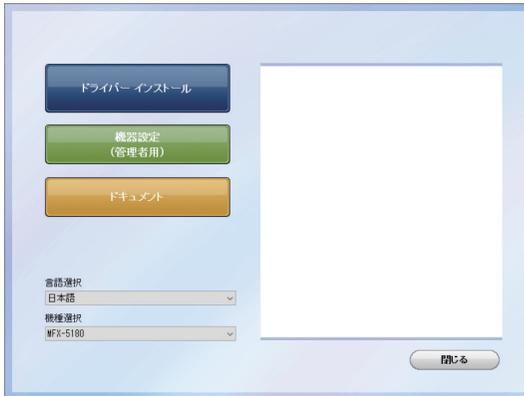
- ・自動再生の画面が表示されたときは、[InstMenu.exe の実行] をクリックします。



- ・「ユーザーアカウント制御」の画面が表示されたら、[はい] (または [許可]) をクリックします。



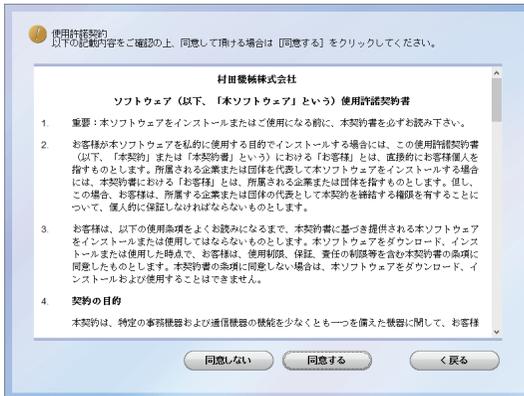
2 「機種選択」から、インストールする対象機種を選択します。



3 [ドライバーインストール] をクリックします。

4 使用許諾契約が表示されます。内容をよくお読みいただき、ご同意いただける場合は、[同意する] をクリックします。

[同意しない]または[戻る]をクリックすると、インストールメニュー画面に戻ります。



5 「ローカル (USB 接続)」を選択して、[次へ] をクリックします。

「インフォメーションサーバーキットを使用する」には、チェックを入れないでください。



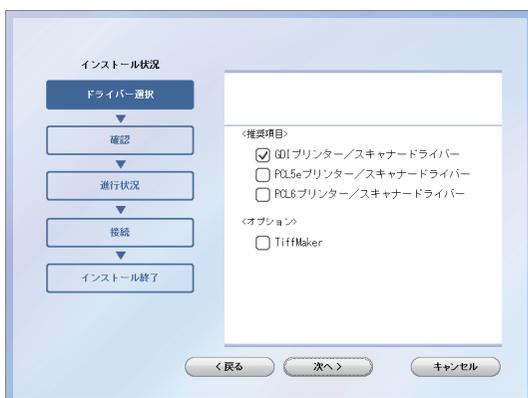
6 インストール方法を選択して、[次へ] をクリックします。

- ・「標準インストール」を選択した場合は、「GDI プリンター/スキャナードライバー」がインストールされます。手順 12 へ進みます。
- ・PCL プリンタードライバー、PDFScanMaker をインストールするときは、「カスタムインストール」を選択し、次の手順に進みます。



7 インストールするドライバーを選択し、[次へ] をクリックします。

- ・PCL プリンタードライバーは、PCL 拡張キット (オプション品) が装着されていない場合は、インストールしても使用できません。
- ・ドライバーの種類に関しては、「ドライバーとユーティリティの紹介」(1-2 ページ) を参照してください。



8 PDFScanMaker をインストールする場合は、チェックボックスにチェックを入れ、[次へ] をクリックします。

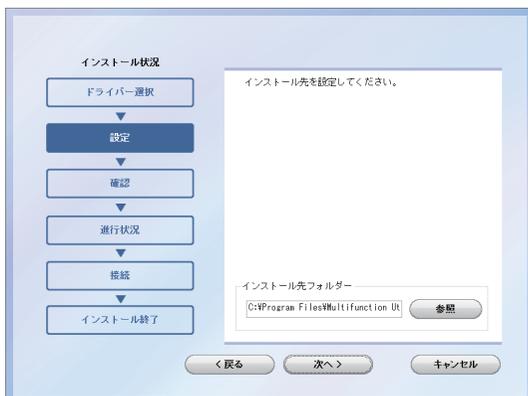
チェックを入れなかった場合は、手順 12 に進みます。



9 PDFScanMaker プログラムのインストール先の指定し、[次へ] をクリック

します。

[参照] をクリックして、インストール先のフォルダーを直接指定することもできます。



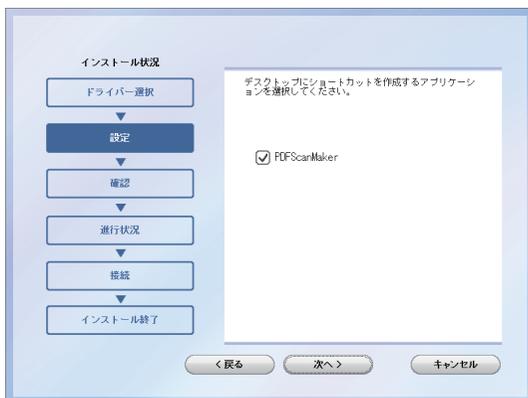
10 PDFScanMaker プログラムのプログラムフォルダーを設定し、[次へ] をク

リックします。

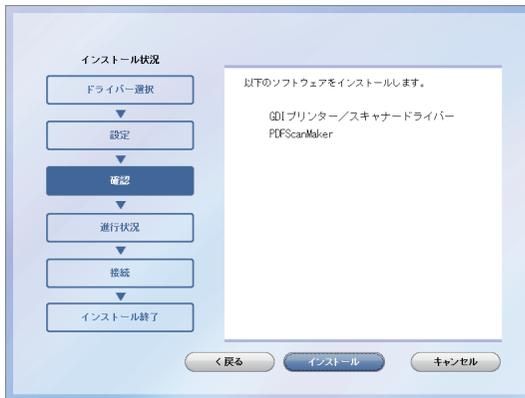


11 PDFScanMaker プログラムのショートカットをデスクトップに表示する場

合は、チェックボックスにチェックを入れ、[次へ] をクリックします。



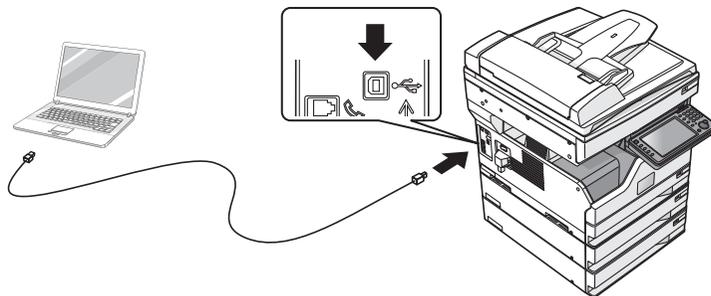
12 「インストール」 をクリックします。



インストール中に、「ソフトウェアのインストール」、「デジタル署名が見つかりませんでした」または「Windows セキュリティ」の画面が表示される場合がありますが、機能上問題はありませんので、[続行]、[はい]、[このドライバーソフトウェアをインストールします] または [インストール] をクリックしてください。

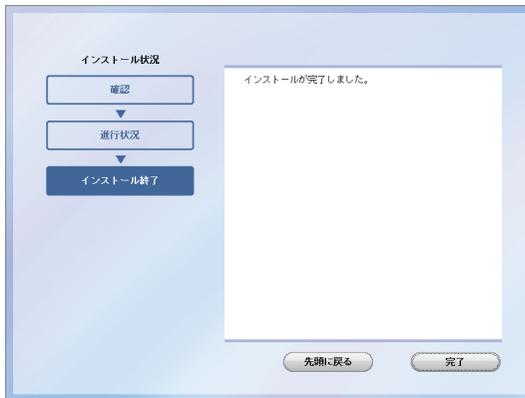


13 以下の画面が表示されたら、USB ケーブルで本製品とコンピューターを接続します。



上記イラストは、MFX-5180 のイメージ図です。

14 「インストールが完了しました」と表示されたら、[完了] をクリックします。



補足

- プリンタードライバーが、正しくインストールできたかどうか確認するために、テストページを印刷してください。(→ 2-38 ページ)
- 給紙ユニットなどのオプション品が装着されている場合は、プリンターのプロパティ画面を開いて、装着されているオプションを選択してください。設定のしかたは、「[装着オプションを設定する](#)」(2-37 ページ) を参照してください。

プリンターの追加ウィザードでインストールする

通常はインストーラーからドライバーをインストールすることをお勧めしますが、以下のような場合には、プリンターの追加ウィザードでインストールしてください。

- 違う種類のプリンタードライバー（たとえば GDI や PCL）を、同じコンピューターに USB 接続でインストールしたいとき
- ネットワークプリンタードライバーをインストールした後、プラグアンドプレイでドライバーをインストールした場合に、正しいプリンタードライバーがインストールされなかったとき

□ 違う種類のプリンタードライバーを、同じコンピューターに USB 接続でインストールしたいとき

1 「セットアップディスク」で1つ目のプリンタードライバーをインストールします。「インストールのしかた (USB 接続)」(2-2 ページ) を参照してください。

2 プリンターの追加ウィザードを表示します。

- 1つ目のプリンタードライバーをインストールした後、2つ目以降のプリンタードライバーをインストールするために、プリンターの追加ウィザードを表示します。
- プリンターの追加ウィザードについては、お使いの Windows のヘルプなどを参照してください。

3 接続方法で、ローカルプリンターを選択します。

Windows 10/Windows Server 2016 の場合

「プリンターが一覧にない場合」をクリックします。次に「ローカルプリンターまたはネットワークプリンターを手動設定で追加する」を選択し、「次へ」をクリックします。

Windows 8 / Windows Server 2012 R2 / Windows Server 2012 の場合

「探しているプリンタはこの一覧にありません」をクリックします。次に、「ローカルプリンターまたはネットワークプリンターを手動設定で追加する」を選択し、[次へ >] をクリックします。

Windows 7 / Windows Vista / Windows Server 2008 / Windows Server 2008 R2 の場合

インストールするプリンターの種類の選択で、[ローカルプリンタを追加します] をクリックします。

Windows Server 2008、Windows Server 2008 R2 の場合は、先に「探しているプリンタはこの一覧にありません」をクリックします。

Windows Server 2003 の場合

[このコンピュータに接続されているローカル プリンタ]を選択し、[次へ >] をクリックします。
[プラグ アンド プレイ対応プリンタを自動的に検出してインストールする] のチェックは外しておきます。

4 プリンターポートの選択で、接続する USB ポートを選択し、[次へ] をクリックします。

Windows 10 / Windows 8 / Windows Server 2016 / Windows Server 2012 R2 / Windows Server 2012 / Windows 7 / Windows Vista / Windows Server 2008 / Windows Server 2008 R2 の場合

[既存のポートを使用] をクリックし、接続する USB ポートを選択します。

Windows Server 2003 の場合

[次のポートを使用] をクリックし、接続する USB ポートを選択します。

- 5 「セットアップディスク」CD-ROMがCD-ROMドライブに入っていることを確認し、[ディスク使用]をクリックします。
- 6 [参照]をクリックして、「セットアップディスク」CD-ROM内のフォルダーを指定し、[開く]をクリックします。
ドライバーの種類に関しては、「ドライバーとユーティリティの紹介」(1-2 ページ)を参照してください。
 - ・GDI プリンタードライバーをインストールする場合
D:\¥Package¥JPN¥「機種名」¥GDI¥INSTDATA¥Printer¥WindowsDriver
 - ・PCL5e プリンタードライバーをインストールする場合
D:\¥Package¥JPN¥「機種名」¥PCL¥INSTDATA¥Printer¥5e¥WindowsDriver
 - ・PCL6 プリンタードライバーをインストールする場合
D:\¥Package¥JPN¥「機種名」¥PCL¥INSTDATA¥Printer¥6¥WindowsDriver
 - ・上記はCD-ROMドライブがDの場合の例です。
 - ・機種名は、MFX-8230とMFX-8200は「M82x0」、MFX-5185は「M5185」、MFX-5180は「M5180」、V-785は「V785」、V-780は「V780」です。
- 7 [OK]をクリックします。
- 8 選択したドライバーに間違いがないか確認し、[次へ]をクリックします。
- 9 表示される画面の指示に従って、インストールを完了します。
ドライバーのインストールが完了すると、プリンター画面にプリンターのアイコンが追加されます。

□ ネットワークプリンタードライバーをインストールした後、プラグアンドプレイでドライバーをインストールした場合に、正しいプリンタードライバーがインストールされなかったとき

- 1 正しくインストールされなかったプリンタードライバーを削除します。
プリンターアイコンを右クリックして、「削除」または「デバイスの削除」を選択します。
- 2 プリンターの追加ウィザードで、目的のプリンタードライバーをインストールします。
インストールのしかたは、「違う種類のプリンタードライバーを、同じコンピュータにUSB接続でインストールしたいとき」(2-10 ページ)の手順2以降を参照してください。

インストールのしかた (ネットワーク接続)

本製品を、ネットワーク接続でお使いになる場合のインストール方法を説明しています。
USB ケーブルで本製品とコンピューターを接続してお使いになる場合は、「インストールのしかた (USB 接続)」(2-2 ページ) を参照してください。

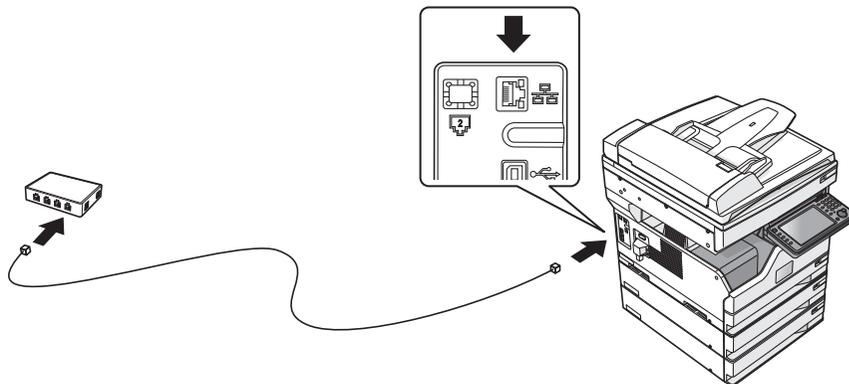
インストール作業の流れ

- 1 LAN ケーブルを接続します。**
下記の「LAN ケーブルを接続する」を参照してください。
- 2 IP アドレスを設定します。**
「IP アドレスを確認する」(2-13 ページ) を参照してください。
- 3 ドライバーをインストールします。**
 - ・「ドライバーをインストールする」(2-14 ページ) を参照してください。
 - ・Information server が装着されている場合は、「ドライバーをインストールする (Information server が装着されている場合)」(2-20 ページ) を参照してください。

LAN ケーブルを接続する

本製品を Ethernet ネットワークに接続するためには、LAN ケーブル (10Base-T/100Base-TX/1000Base-T 適合のツイストペアケーブル) が必要です (本製品には付属していません)。

- 1 本製品の左後ろ側にあるネットワークポートに、LAN ケーブルを接続します。**



上記イラストは、MFX-5180 のイメージ図です。

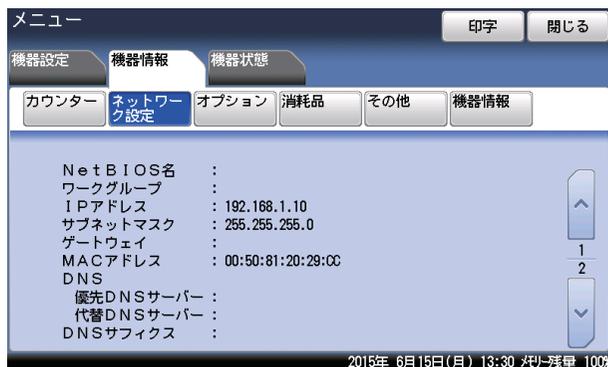
- 2 LAN ケーブルのもう一方を、ネットワークハブに接続します。**
詳しくは、ネットワーク管理者にご確認ください。

IP アドレスを確認する

本製品をネットワークに接続するには、IPアドレスの設定が必要です。IPアドレスの設定方法については、『機器設定・管理編』第2章の「ネットワーク設定をする」の「TCP/IP設定をする」を参照してください。

本製品に設定されたIPアドレスは、以下の手順で確認できます。

- 1 <メニュー> を押し、[機器情報] タブを押します。
- 2 [ネットワーク設定] を押します。
IPアドレスを確認します。



ドライバーをインストールする

ネットワークドライバーのインストールの方法について説明します。Information server (オプション品) が装着されている場合は、「ドライバーをインストールする (Information server が装着されている場合) 」(2-20 ページ) を参照してください。

補足

ドライバーをインストールするには、コンピューターの管理者または管理者に属するユーザーとしてログオンしてください。

1 コンピューターの電源を入れ、「セットアップディスク」CD-ROM を入れます。

- ・インストールプログラムが自動的に起動し、インストールメニュー画面が表示されます。
- ・インストールプログラムが自動的に起動しない場合は、「セットアップディスク」CD-ROM 中の「InstMenu.exe」アイコンをダブルクリックしてください。

License	2011
Manual	2011
Package	2011
Resource	2011
Utility	2011
Autorun.inf	2009
InstMenu.exe	2011
setting.ini	2011
Version.txt	2011

お使いのパソコンの設定によっては、「セットアップディスク」CD-ROM 挿入時に以下のような画面が表示されます。

- ・メディアの自動再生動作選択のメッセージ画面が表示されたときは、このメッセージをクリックします。



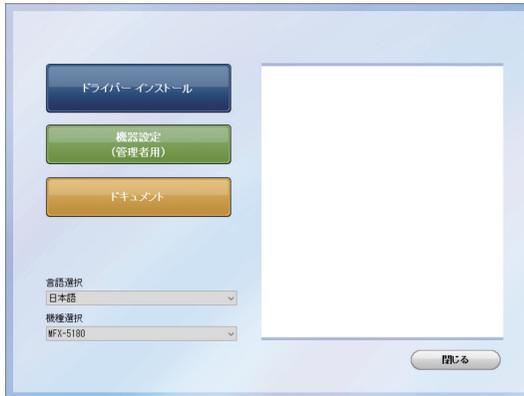
- ・自動再生の画面が表示されたときは、[InstMenu.exe の実行] をクリックします。



- ・「ユーザーアカウント制御」の画面が表示されたら、[はい] (または [許可]) をクリックします。



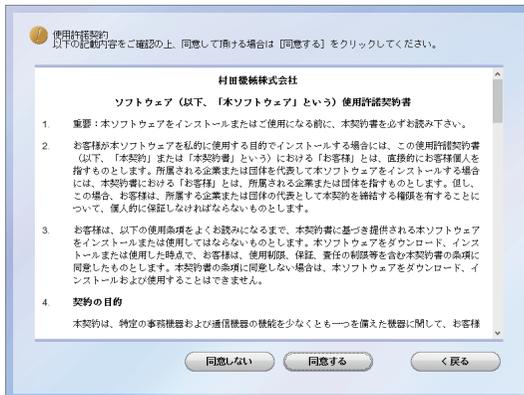
2 「機種選択」から、インストールする対象機種を選択します。



3 [ドライバーインストール] をクリックします。

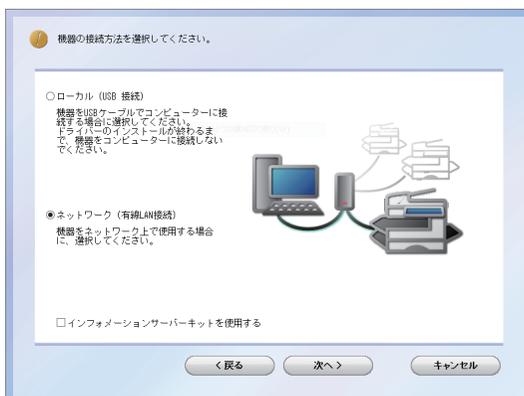
4 使用許諾契約が表示されます。内容をよくお読みいただき、ご同意いただける場合は、[同意する] をクリックします。

[同意しない]または[<戻る]をクリックすると、インストールメニュー画面に戻ります。



5 「ネットワーク (有線 LAN 接続)」を選択して、[次へ] をクリックします。

「インフォメーションサーバーキットを使用する」にはチェックを入れないでください。



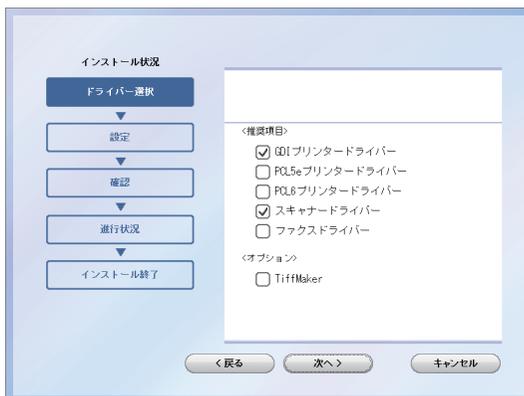
6 インストール方法を選択して、[次へ] をクリックします。

- ・「標準インストール」を選択した場合は、「GDI プリンタードライバー」、「スキャナードライバー」がインストールされます。手順 12 へ進みます。
- ・「カスタムインストール」を選択した場合は、手順 7 に進みます。



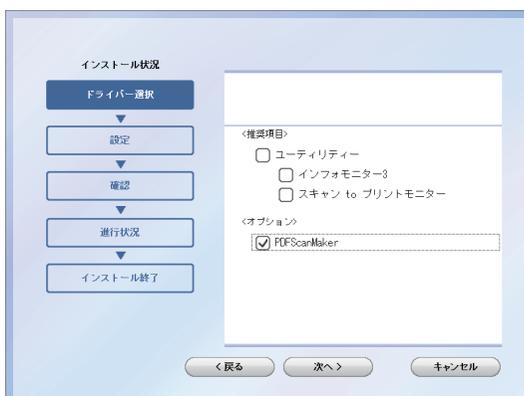
7 インストールするドライバーを選択し、[次へ] をクリックします。

- ・ファクスドライバーは、インストールしても使用できません。
- ・PCL プリンタードライバーは、PCL 拡張キット (オプション品) が必要です。

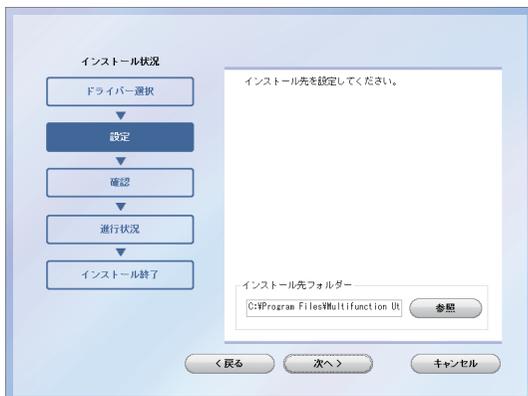


8 PDFScanMaker をインストールする場合は、チェックボックスにチェックを入れ、[次へ] をクリックします。

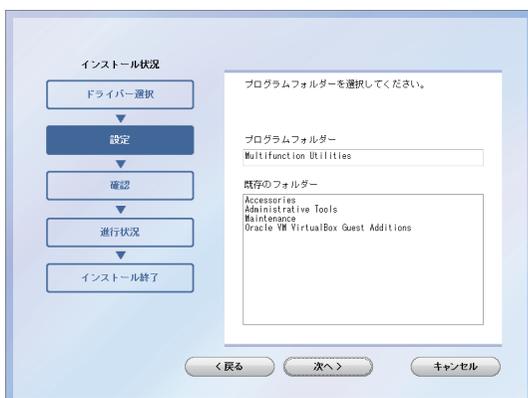
- ・チェックを入れなかった場合は、手順 12 に進みます。
- ・インフォモニターやスキャン to プrintモニターは、インストールしても使用できません。



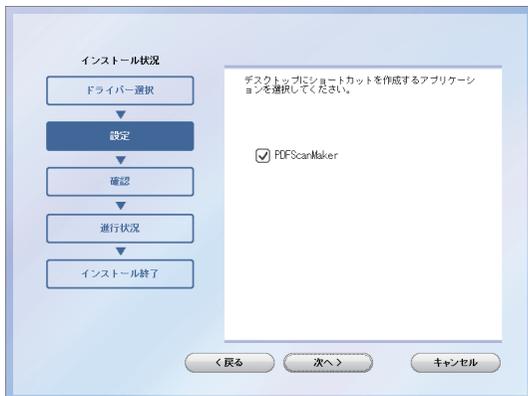
- 9 PDFScanMaker のインストール先を指定し、[次へ] をクリックします。
[参照] をクリックして、インストール先のフォルダーを直接指定することもできます。



- 10 PDFScanMaker のプログラムフォルダーを設定し、[次へ] をクリックします。
プログラムフォルダーの名前を変えるときは、フォルダー名を入力します。

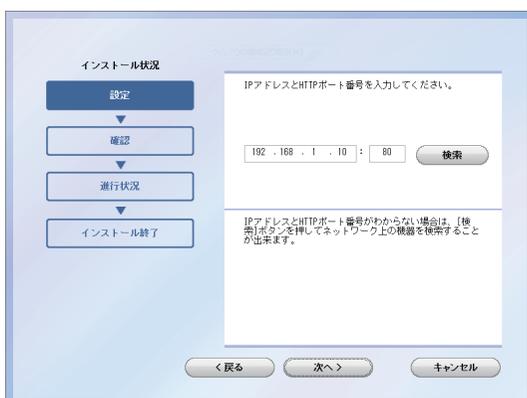


- 11 PDFScanMaker のショートカットをデスクトップに表示する場合は、チェックボックスにチェックを入れ、[次へ] をクリックします。

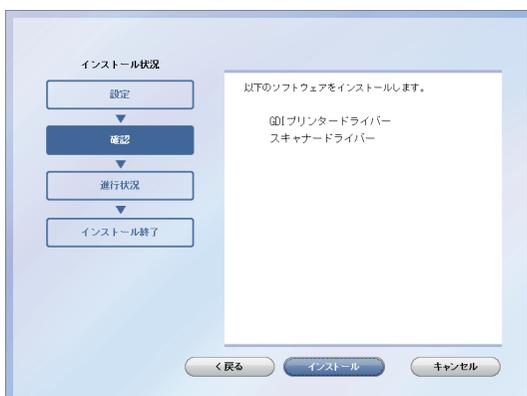


12 本製品の IP アドレスを入力し、[次へ] をクリックします。

[検索] をクリックして、ネットワーク上にある本製品を検索することもできます。詳しくは、「ネットワーク上の機器を検索する」(2-26 ページ) を参照してください。



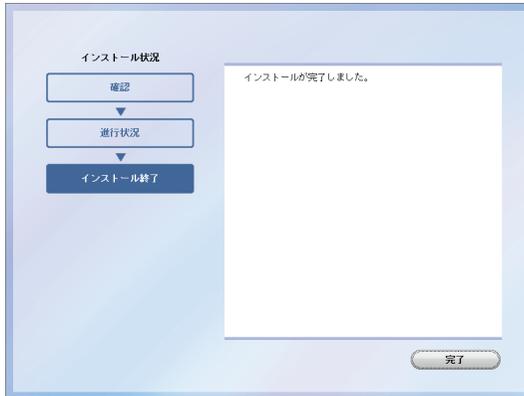
13 [インストール] をクリックします。



インストール中に、「ソフトウェアのインストール」、「デジタル署名が見つかりませんでした」、または「Windows セキュリティ」の画面が表示される場合がありますが、機能上問題はありませんので、[続行]、[はい]、[このドライバーソフトウェアをインストールします] または [インストール] をクリックしてください。



- 14** 「インストールが完了しました」と表示されたら、[完了] をクリックします。
続けて「ユーザー認証」、「セキュリティープリントテスト印刷」の設定ができます。



- 15** 必要に応じて、「ユーザー認証」、「セキュリティープリントテスト印刷」を行います。

- ・「ユーザー認証」 → 「ドライバーを設定する」(2-27 ページ)、
- ・「セキュリティープリントテスト印刷」 → 「セキュリティープリントのテスト印刷をする」(2-28 ページ)



- 16** [閉じる] をクリックして、インストールを終了します。

補足

- Windows コンピューターをプリントサーバーとし、本製品をネットワーク共有プリンターとして使用する場合は、プリントサーバーとなるコンピューターでプリンターの共有設定を行い、クライアント側のコンピューターでドライバーをインストールできるようにします。詳しくは、「ネットワーク共有プリンターとして使用する」(2-31 ページ) を参照してください。
- プリンタードライバーが、正しくインストールできたかどうか確認するために、テストページを印刷してください。(→ 2-38 ページ)
- 給紙ユニットなどのオプション品が装着されている場合は、プリンターのプロパティ画面を開いて、装着されているオプションが正しく設定されているか確認してください。(→ 2-37 ページ)

ドライバーをインストールする (Information server が装着されている場合)

Information server(オプション品)が装着されている場合のインストールの方法について説明します。

補足

ドライバーをインストールするには、コンピューターの管理者または管理者に属するユーザーとしてログオンしてください。

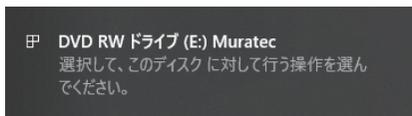
1 コンピューターの電源を入れ、「セットアップディスク」CD-ROMを入れます。

- ・インストールプログラムが自動的に起動し、インストールメニュー画面が表示されます。
- ・インストールプログラムが自動的に起動しない場合は、「セットアップディスク」CD-ROMの中の「InstMenu.exe」アイコンをダブルクリックしてください。

License	2011
Manual	2011
Package	2011
Resource	2011
Utility	2011
Autorun.inf	2009
InstMenu.exe	2011
setting.ini	2011
Version.txt	2011

お使いのパソコンの設定によっては、「セットアップディスク」CD-ROM 挿入時に以下のような画面が表示されます。

- ・メディアの自動再生動作選択のメッセージ画面が表示されたときは、このメッセージをクリックします。



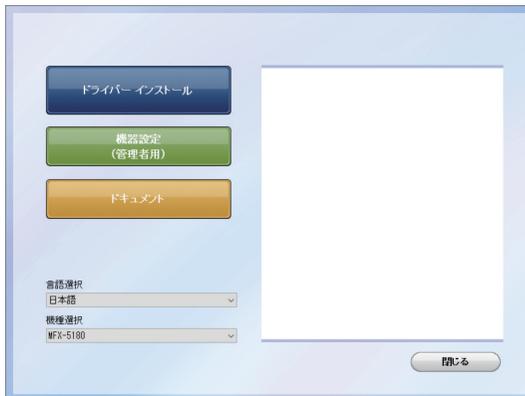
- ・自動再生の画面が表示されたときは、[InstMenu.exe の実行] をクリックします。



- ・「ユーザーアカウント制御」の画面が表示されたら、[はい] (または [許可]) をクリックします。



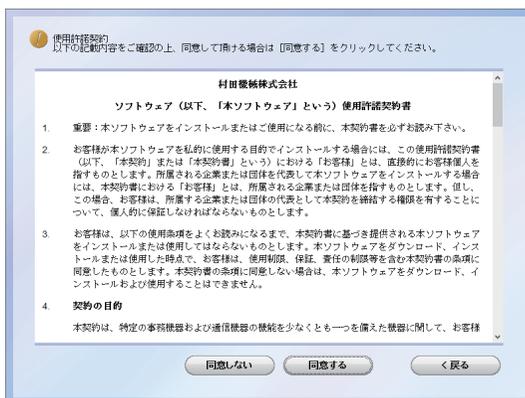
2 「機種選択」から、インストールする対象機種を選択します。



3 [ドライバーインストール] をクリックします。

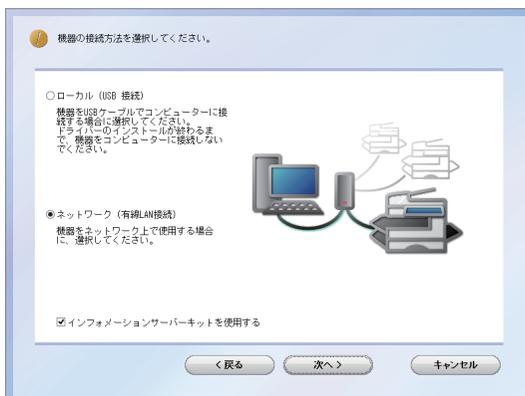
4 使用許諾契約が表示されます。内容をよくお読みいただき、ご同意いただける場合は、[同意する] をクリックします。

[同意しない]または[<戻る]をクリックすると、インストールメニュー画面に戻ります。



5 「ネットワーク (有線 LAN 接続)」を選択します。

6 「インフォメーションサーバーキットを使用する」にチェックを入れ、[次へ] をクリックします。



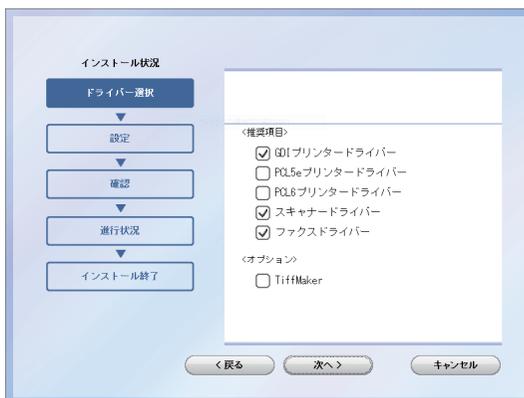
7 インストール方法を選択して、[次へ] をクリックします。

- ・「標準インストール」を選択した場合は、「GDI プリンタードライバー」、「スキャナードライバー」、「ファクスドライバー」、「インフォモニター 3」または「インフォモニター 4」がインストールされます。手順 10 へ進みます。
- ・「カスタムインストール」を選択した場合は、次の手順に進みます。



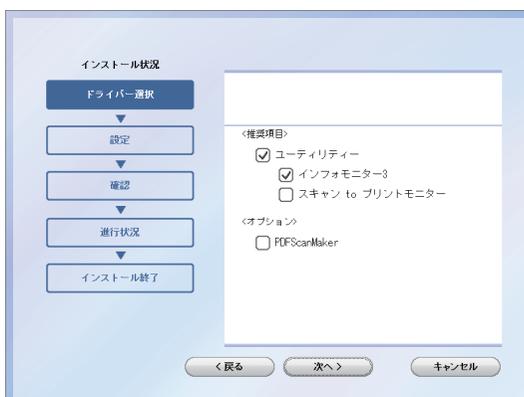
8 インストールするドライバーを選択し、[次へ] をクリックします。

PCL プリンタードライバーは、PCL 拡張キット (オプション品) が必要です。

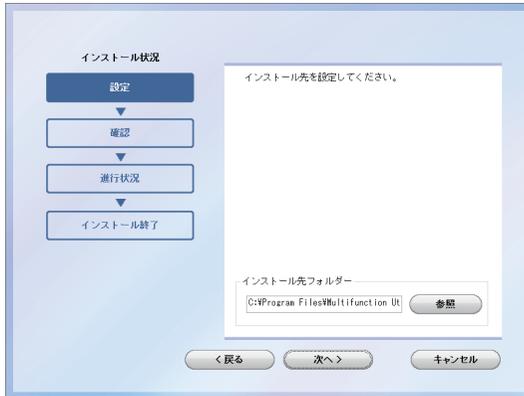


9 インストールするユーティリティーを選択し、[次へ] をクリックします。

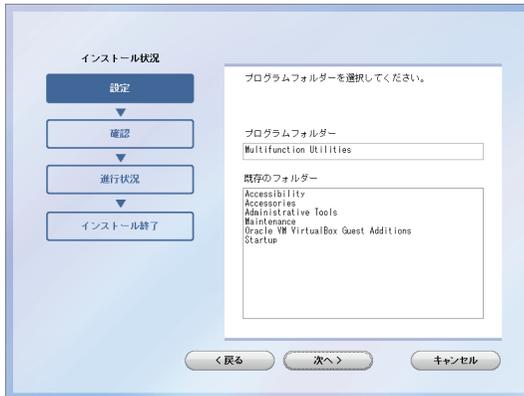
- ・ユーティリティーをインストールしない場合は、チェックを外して手順 14 へ進みます。
- ・ユーティリティーの種類に関しては、「ドライバーとユーティリティーの紹介」(1-2 ページ) を参照してください。



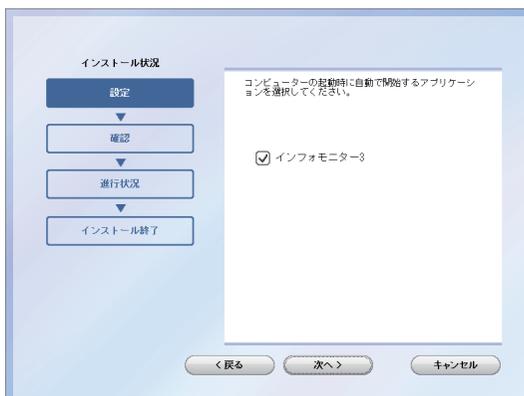
- 10** ユーティリティのインストール先を指定し、[次へ] をクリックします。
[参照] をクリックして、インストール先のフォルダーを直接指定することもできます。



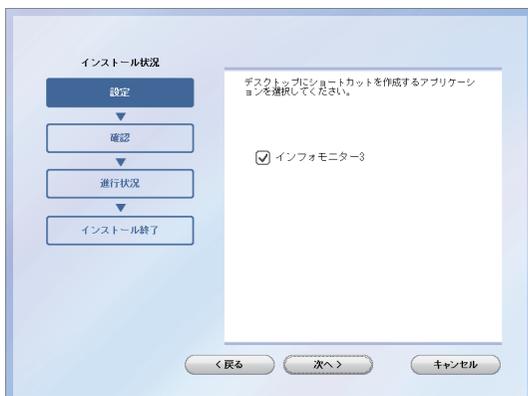
- 11** プログラムフォルダーを選択し、[次へ] をクリックします。
ユーティリティを登録するプログラムフォルダーを選択します。プログラムフォルダーの名前を変えるときは、フォルダー名を入力します。



- 12** コンピューター起動時に、自動で起動させたいユーティリティにチェックを入れ、[次へ] をクリックします。
この手順は、「インフォモニター」または「スキャン to プリントモニター」をインストールするときだけ表示されます。

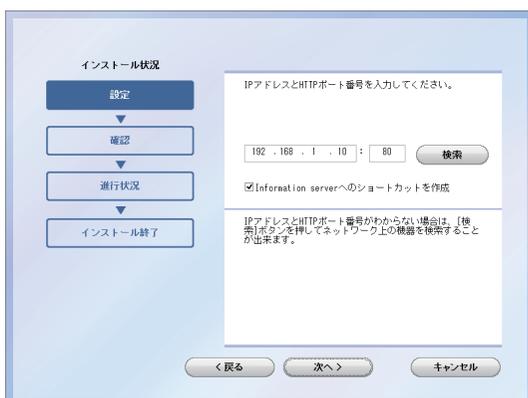


13 コンピューターのデスクトップに、ショートカットを作成したいユーティリティーにチェックを入れ、[次へ] をクリックします。

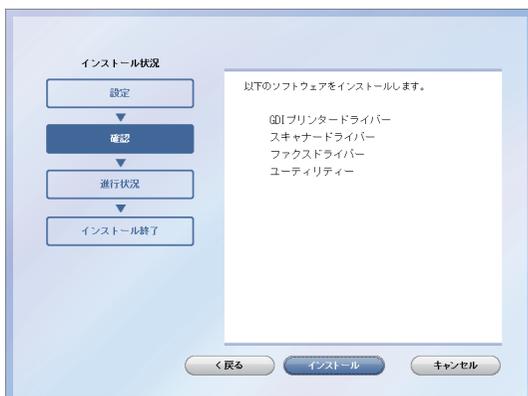


14 本製品の IP アドレスを入力し、[次へ] をクリックします。

- ・コンピュータのデスクトップにショートカットを作成する場合は、「Information server へのショートカットを作成」にチェックを入れます。
- ・[検索] をクリックして、ネットワーク上にある本製品を検索することもできます。詳しくは、「ネットワーク上の機器を検索する」(2-26 ページ) を参照してください。



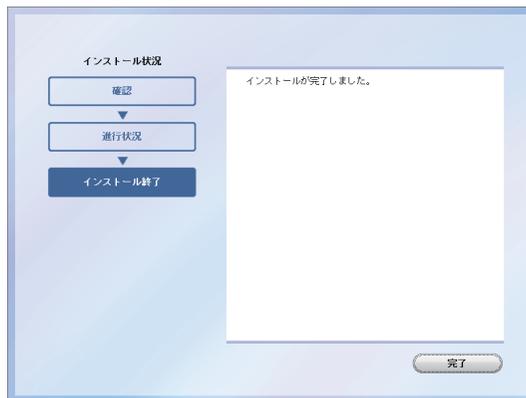
15 [インストール] をクリックします。



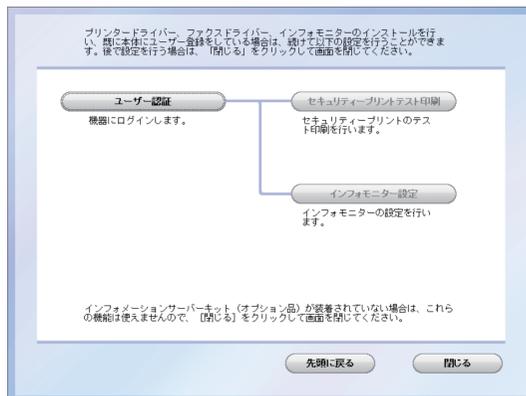
インストール中に、「ソフトウェアのインストール」、「デジタル署名が見つかりません
でした」、または「Windows セキュリティ」の画面が表示される場合がありますが、
機能上問題はありませので、[続行]、[はい]、[このドライバーソフトウェアをイン
ストールします] または [インストール] をクリックしてください。



- 16** 「インストールが完了しました」と表示されたら、[完了] をクリックします。
プリンタードライバー、またはファクスドライバー、インフォモニターをインストール
したときは、続けて「ユーザー認証」、「セキュリティープリントテスト印刷」、「インフォ
モニター設定」を行います。



- 17** 必要に応じて、「ユーザー認証」、「セキュリティープリントテスト印刷」、「イ
ンフォモニター設定」を行います。(→ 2-27 ページ)



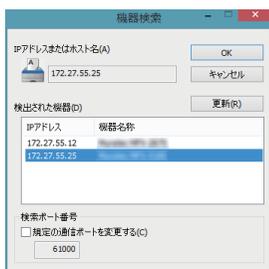
- 18** [閉じる] をクリックして、インストールを終了します。

補足

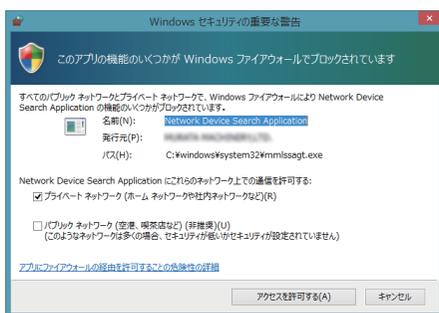
- Windows コンピューターをプリントサーバーとし、本製品をネットワーク共有プリンターとして使用する場合は、プリントサーバーとなるコンピューターでプリンターの共有設定を行い、クライアント側のコンピューターでドライバーをインストールできるようにします。詳しくは、「ネットワーク共有プリンターとして使用する」(2-31 ページ)を参照してください。
- プリンタードライバーが、正しくインストールできたかどうか確認するために、テストページを印刷してください。(→ 2-38 ページ)
- 給紙ユニットなどのオプション品が装着されている場合は、プリンターのプロパティ画面を開いて、装着されているオプションを選択してください。設定のしかたは、「装着オプションを設定する」(2-37 ページ)を参照してください。

□ ネットワーク上の機器を検索する

IPアドレスの入力時に、[検索] をクリックすると、ネットワーク上にある本製品を検索することができます。



- 1 IPアドレスの入力画面で [検索] をクリックします。
- 2 「Windows セキュリティの重要な警告」が表示された場合は、[ブロックを解除する] または [アクセスを許可する] をクリックし、[更新] をクリックします。もし誤って、[ブロックを解除する] または [アクセスを許可する] 以外をクリックした場合は、Windows ファイアウォールの設定で、「Network Device Search Application」を許可してください。



- 3 接続する機器名称を選択して、[OK] をクリックします。

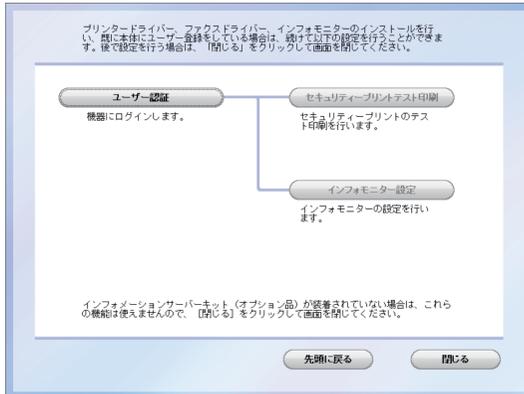
補足

- 本製品を検索できない場合は、[更新] をクリックするか検索ポート番号を変更してください。
- 検索ポート番号を変更して検索する方法は、「規定の通信ポートを変更する」にチェックを入れ、ポート番号を入力してから [更新] をクリックします。ポート番号は、ネットワークの管理者にお問い合わせください。

ドライバーを設定する

プリンタードライバー、またはファクスドライバー、インフォモニターをインストールしたときは、ドライバーのインストール直後に以下の画面が表示されます。
設定するためには、あらかじめ本製品にユーザーを登録しておく必要があります。ユーザー登録のしかたについては、『ネットワーク機能・Information server 編』第3章の「使用するユーザーを登録する」を参照してください。

インストール完了後の設定画面



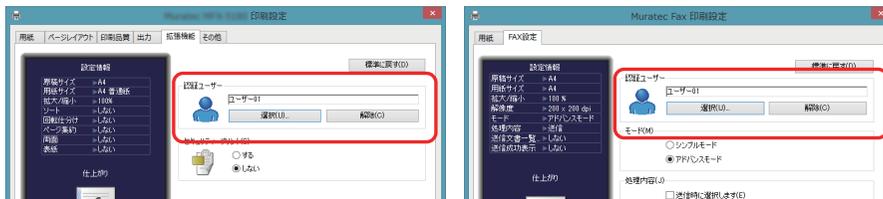
□ 認証ユーザーを設定する

[ユーザー認証] で認証ユーザーを設定すると、プリンタードライバーやファクスドライバーで設定できる認証ユーザーを一度に設定できます。

- 1 ドライバーのインストール完了後に設定画面が開いたら、[ユーザー認証] をクリックします。
- 2 ユーザー名を選択し、パスワードを入力します。
- 3 [OK] をクリックします。

補足

[ユーザー認証] で認証ユーザーを設定すると、インストールしたプリンタードライバー、ファクスドライバーの認証ユーザー設定に、選択したユーザーが設定されます。



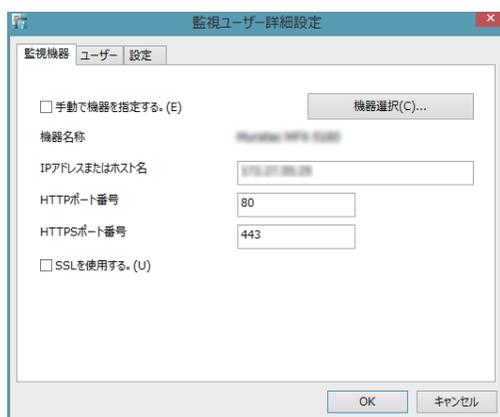
プリンタードライバーの「拡張機能」タブ

ファクスドライバーの「FAX設定」タブ

□ インフォモニターの監視ユーザーを設定する

[インフォモニター設定] で監視ユーザー設定をすると、インフォモニター起動時の設定を省けます。

- 1 ドライバーのインストール完了後に設定画面が開いたら、[ユーザー認証] をクリックします。
- 2 ユーザー名を選択し、パスワードを入力します。
- 3 [OK] をクリックします。
- 4 [インフォモニター設定] をクリックします。
- 5 設定内容を確認し、[OK] をクリックします。



- ・インフォモニターの監視ユーザーとして、選択したユーザーが設定されます。
- ・インフォモニターの詳細設定については、『ネットワーク機能・Information server 編』第8章の「発生したイベントを管理する (インフォモニター)」を参照してください。

- 6 「インフォモニターの設定は完了しました。」と表示されたら、[OK] をクリックします。

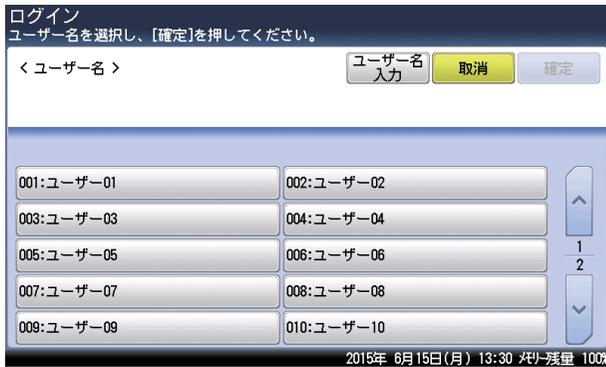
□ セキュリティープリントのテスト印刷をする

セキュリティープリントのテスト印刷をしたい場合は、[セキュリティープリントテスト印刷] をクリックします。

- 1 ドライバーのインストール完了後に設定画面が開いたら、[ユーザー認証] をクリックします。
- 2 ユーザー名を選択し、パスワードを入力します。
- 3 [OK] をクリックします。
- 4 [セキュリティープリントテスト印刷] をクリックします。
- 5 「セキュリティープリントのテストページをプリンターに送信しました。機器にログインし、「セキュリティープリント」メニューから印刷してください。」と表示されたら、[OK] をクリックします。

6 機器の操作パネルで、〈ログイン〉を押します。

7 ユーザー名を選択し、[確定]を押します。

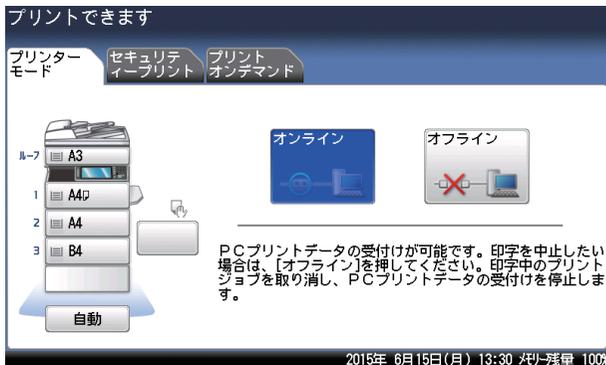


- ・[ユーザー名入力]を押すと、ユーザー名を直接入力できます。
- ・マシンポリシーの設定によっては、ユーザー名選択画面ではなくユーザー名入力画面が表示されます。
- ・パスワードを設定していない場合は、手順9に進みます。

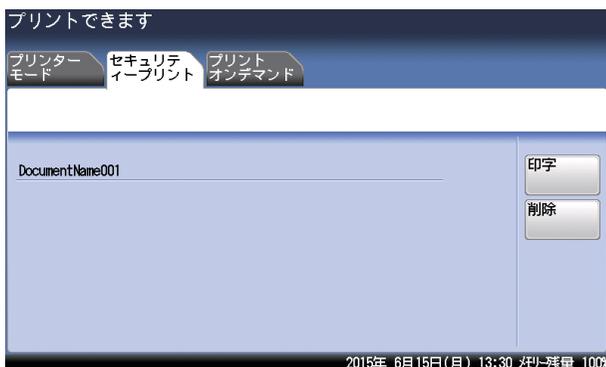
8 パスワードを入力し、[確定]を押します。

9 〈プリンター〉を押します。

10 [セキュリティープリント] タブを押します。



11 [印字]を押します。



12 [はい]を押します。

13 〈ログイン〉を押します。
ログアウトの確認画面が表示されます。

14 [はい] を押します。

 **補足**

- プリントした後、セキュリティープリント文書は本製品のメモリーから削除されます。
- セキュリティープリントの操作後は、必ずログアウトしてください。

ネットワーク共有プリンターとして使用する

Windows コンピューターをプリントサーバーとし、プリントサーバーに接続された本製品をネットワーク共有プリンターとして使用する場合は、プリントサーバーでプリンターの共有設定を行い、クライアント側のコンピューターでドライバーをインストールします。

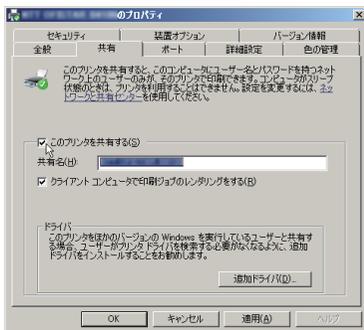
補足

- プリントサーバーについての詳細設定は、お使いの Windows の取扱説明書やオンラインヘルプなどを参照してください。
- ここで説明している「プリントサーバー」とは、本製品に直接接続された Windows コンピューターのことです。「クライアント側のコンピューター」とは、プリントサーバーと同じネットワークに接続されているほかの Windows コンピューターのことです。
- クライアント側のコンピューターでは、プリントサーバーにインストールされているプリンタードライバーをインストールします。

□ プリントサーバーでプリンターを共有する

以下の説明画面は、Windows Sever 2008 のものです。お使いの Windows のバージョンによって画面は異なります。

- 1 **プリントサーバーにドライバーをインストールします。**
「インストールのしかた (USB 接続)」(2-2 ページ) を参照してください。
- 2 **インストールしたプリンターのアイコンを右クリックして、「共有」をクリックします。**
- 3 **[共有オプションの変更] をクリックします。**
「ユーザーアカウント制御」の画面が表示されたら、[続行] をクリックします。
- 4 **「このプリンタを共有する」にチェックを入れます。**
必要に応じて共有名を変更します。



クライアント側のコンピューターがプリントサーバーとは違うバージョンの Windows を実行している場合は、[追加ドライバ] をクリックして、追加ドライバーをインストールしてください。(→ 2-32 ページ)

- 5 **[OK] をクリックします。**

□ 追加ドライバーをインストールする

クライアント側のコンピューターがプリントサーバーとは違うバージョンの Windows を実行している場合は、追加ドライバーをインストールします。

- 1 「プリントサーバーでプリンターを共有する」(2-31 ページ) の手順 1～4 を行います。
- 2 [追加ドライバ (D)] をクリックします。
- 3 追加ドライバーをインストールするシステムにチェックマークを入れ、[OK] をクリックします。



- 4 「セットアップディスク」を CD-ROM ドライブに入れ、以下のフォルダーを指定します。

ドライバーの種類に関しては、「ドライバーとユーティリティの紹介」(1-2 ページ) を参照してください。

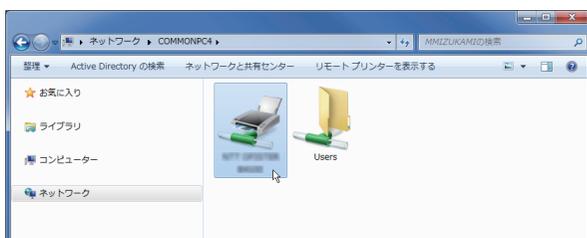
- ・ GDI プリンタードライバーをインストールする場合
D:\¥Package¥JPN¥[機種名]¥GDI¥INSTDATA¥Printer¥WindowsDriver
 - ・ PCL 5e プリンタードライバーをインストールする場合
D:\¥Package¥JPN¥[機種名]¥PCL¥INSTDATA¥Printer¥5e¥WindowsDriver
 - ・ PCL 6 プリンタードライバーをインストールする場合
D:\¥Package¥JPN¥[機種名]¥PCL¥INSTDATA¥Printer¥6¥WindowsDriver
- ・ 上記は CD-ROM ドライブが D の場合の例です。
・ 機種名は、MFX-8230 と MFX-8200 は「M82x0」、MFX-5185 は「M5185」、MFX-5180 は「M5180」、V-785 は「V785」、V-780 は「V780」です。

- 5 画面の指示に従ってドライバーをインストールします。

□ クライアント側のコンピューターでインストールする

プリントサーバー名とプリンターの共有名称をネットワーク管理者に確認してください。

- 1 ネットワークコンピューターの画面で、プリントサーバーをダブルクリックします。
- 2 共有プリンターをダブルクリックします。
自動的にプリンタードライバーがインストールされます。



IPP(Internet Printing Protocol) 印刷をする

Windows の IPP ポートで印刷する機能を使用して、ネットワーク印刷するための設定方法について説明します。

補足

- Information server(オプション品) が装着されていない場合は、この機能は使えません。
- IPP 印刷するには、事前に HTTP プロトコルが利用できるネットワーク環境であることを確認してください。
- IPP 印刷するには、IP アドレスの設定が必要です。(→ 2-13 ページ)
- Information server 画面から、IPP ポートの使用を有効にしてください。「設定画面」から、「機器管理設定」→「セキュリティー設定」→「マシンポリシー設定」の画面を開き、「サービス設定」にある「PC プリント」で IPP を ON にします。
- HTTP ポート番号を初期値の「80」から変更している場合は、インストール時の URL を以下のように入力してください。
(例)http://xxx.xxx.xxx.xxx:631/ipp(HTTP ポート番号を「631」に変更した場合)
- GDI プリンタードライバーをご利用の場合、拡大／縮小機能と集約／小冊子機能は使用できません。
- ファクスドライバーをご利用の場合、拡大／縮小機能は使用できません。

□ Windows Server 2016 / Windows Server 2012 R2 / Windows Server 2012 をお使いの場合

プリンタードライバーのインストールを行う前に以下の設定を行う必要があります。

- 1 「スタート画面」から [サーバーマネージャー] をクリックします。
- 2 「②役割と機能の追加」をクリックします。
- 3 「機能の選択」が表示されるまで、[次へ] をクリックします。
- 4 「機能」から [インターネット印刷クライアント] をチェックし、[次へ] をクリックします。
- 5 [インストール] をクリックします。
- 6 インストールが完了したら [閉じる] をクリックします。
- 7 コンピューターを再起動します。

□ Windows Server 2008 / Windows Server 2008 R2 をお使いの場合

プリンタードライバーのインストールを行う前に以下の設定を行う必要があります。

- 1 [スタート] をクリックします。
- 2 [管理ツール] から [サーバーマネージャ] を選択します。
ユーザーアカウント制御の画面が表示されたら、[続行] または [はい] をクリックします。
- 3 サーバーマネージャー画面の [機能の概要] から、[機能の追加] を選択します。
- 4 [インターネット印刷クライアント] にチェックして機能をインストールします。
- 5 コンピューターを再起動します。

□ IPP ポートの追加

Windows 10 / Windows 8 / Windows 7 / Windows Vista / Windows Server 2016 / Windows Server 2012 R2 / Windows Server 2012 / Windows Server 2008 R2 / Windows Server 2008 R2 の場合

- 1 「セットアップディスク」を、コンピューターの CD-ROM ドライブにセットします。
インストーラー画面が表示された場合は、[閉じる] を押して終了させます。
- 2 [スタート] メニューから「コントロールパネル」をクリックします。
 - ・ Windows 10 / Windows Server 2016 の場合
「スタート」をクリックし、表示されたアプリの一覧から「Windows システムツール」をクリックして、表示された一覧から「コントロールパネル」をクリックします。
 - ・ Windows 8 の場合
「スタート画面」で右クリック→[すべてのアプリ]→「コントロールパネル」とクリックします。
 - ・ Windows Server 2012 R2 / Windows Server 2012 の場合
「スタート画面」から「コントロールパネル」をクリックします。
- 3 [ハードウェアとサウンド] のプリンター画面を開きます。
 - ・ Windows Vista / Server 2008 / Server 2008 R2 の場合
[ハードウェアとサウンド] の [プリンタ] をクリックします。[コントロール パネル] がクラシック表示になっている場合は、[プリンタ] をダブルクリックします。
 - ・ Windows 10 / Windows 8 / Windows 7 / Windows Server 2016 / Windows Server 2012 R2 / Windows Server 2012 の場合
[ハードウェアとサウンド] の [デバイスとプリンターの表示] をクリックします。[コントロール パネル] がアイコン表示になっている場合は、[デバイスとプリンター] をクリックします。
- 4 「プリンターの追加」ウィザードを表示させます。
 - ・ Windows Vista / Server 2008 / Server 2008 R2 の場合
ツールバーの [プリンタのインストール] をクリックします。
 - ・ Windows 10 / Windows 8 / Windows 7 / Windows Server 2016 / Windows Server 2012 R2 / Windows Server 2012 の場合
ツールバーの [プリンターの追加] をクリックします。
- 5 「ネットワーク、ワイヤレスまたは Bluetooth を追加します」をクリックします。
Windows のバージョンによって、この手順が不要な場合があります。
- 6 「探しているプリンタはこの一覧にありません」をクリックします。
Windows 10 / Windows Server 2016 の場合は、[プリンターが一覧にない場合] をクリックします。
- 7 「共有プリンタを名前を選択する」を選択し、以下の形式で、本製品の URL を入力し、[次へ] をクリックします。
http:// <本製品の IP アドレス> : <HTTP ポート番号> /ipp
例：本製品の IP アドレスが 192.168.1.20、HTTP ポート番号が 80 の場合
http://192.168.1.20:80/ipp
- 8 [ディスク使用] をクリックします。
- 9 [参照] をクリックします。

10 以下のフォルダーを指定し、[開く] をクリックします。

ドライバーの種類に関しては、「ドライバーとユーティリティの紹介」(1-2 ページ)を参照してください。

- ・GDI プリンタードライバーをインストールする場合
D:¥Package¥JPN¥[機種名]¥GDI¥INSTDATA¥Printer¥WindowsDriver
- ・PCL 5e プリンタードライバーをインストールする場合
D:¥Package¥JPN¥[機種名]¥PCL¥INSTDATA¥Printer¥5e¥WindowsDriver
- ・PCL 6 プリンタードライバーをインストールする場合
D:¥Package¥JPN¥[機種名]¥PCL¥INSTDATA¥Printer¥6¥WindowsDriver
- ・上記は CD-ROM ドライブが D の場合の例です。
- ・機種名は、MFX-8230 と MFX-8200 は「M82x0」、MFX-5185 は「M5185」、MFX-5180 は「M5180」、V-785 は「V785」、V-780 は「V780」です。

11 [OK] をクリックします。**12** [OK] をクリックします。**13** 画面の指示に従って操作します。

- ・[ユーザー アカウント制御] に関する画面が表示されるときは、[続行] または [はい] をクリックします。
- ・[Windows セキュリティ] の発行元検証に関する画面が表示されるときは、[このドライバーソフトウェアをインストールします] をクリックします。

14 [完了] をクリックします。**15** インストール終了後、インストールしたプリンターアイコンが [プリンタ] ウィンドウまたは [デバイスとプリンター] ウィンドウに表示されていることを確認します。**補足**

給紙ユニットなどのオプション品が装着されている場合は、プリンターのプロパティ画面を開いて、装着されているオプションを選択してください。設定のしかたは、「装着オプションを設定する」(2-37 ページ)を参照してください。

Windows Server 2003 の場合

1 「セットアップディスク」を、コンピューターの CD-ROM ドライブにセットします。

インストーラー画面が表示された場合は、[閉じる] を押して終了させます。

2 「プリンタの追加」ウィザードを表示させます。

[スタート] をクリックして、[プリンタと FAX] をクリックします。次に [プリンターのインストール] をクリックします。

3 [次へ] をクリックします。**4** [ネットワークプリンタ] を選択して、[次へ] をクリックします。**5** [URL] に本製品の URL を入力し、[次へ] をクリックします。

http:// <本製品の IP アドレス> : < HTTP ポート番号 > /ipp

例：本製品の IP アドレスが 192.168.1.20、HTTP ポート番号が 80 の場合

http://192.168.1.20:80/ipp

6 [ディスク使用] を選択します。

7 [参照] を選択します。

8 以下のフォルダーを指定し、[開く] をクリックします。

ドライバーの種類に関しては、「[ドライバーとユーティリティの紹介](#)」(1-2 ページ)を参照してください。

- ・ GDI プリンタードライバーをインストールする場合
D:¥Package¥JPN¥[機種名]¥GDI¥INSTDATA¥Printer¥WindowsDriver
- ・ PCL 5e プリンタードライバーをインストールする場合
D:¥Package¥JPN¥[機種名]¥PCL¥INSTDATA¥Printer¥5e¥WindowsDriver
- ・ PCL 6 プリンタードライバーをインストールする場合
D:¥Package¥JPN¥[機種名]¥PCL¥INSTDATA¥Printer¥6¥WindowsDriver
- ・ 上記は CD-ROM ドライブが D の場合の例です。
- ・ 機種名は、MFX-5180 は「M5180」、V-780 は「V780」です。

9 [OK] をクリックします。

10 [OK] をクリックします。

11 画面の指示に従って操作します。

12 [完了] をクリックします。

13 インストール終了後、インストールしたプリンターアイコンが [プリンタ] ウィンドウまたは [デバイスとプリンター] ウィンドウに表示されていることを確認します。

補足

給紙ユニットなどのオプション品が装着されている場合は、プリンターのプロパティ画面を開いて、装着されているオプションを選択してください。設定のしかたは、「[装着オプションを設定する](#)」(2-37 ページ)を参照してください。

装着オプションを設定する

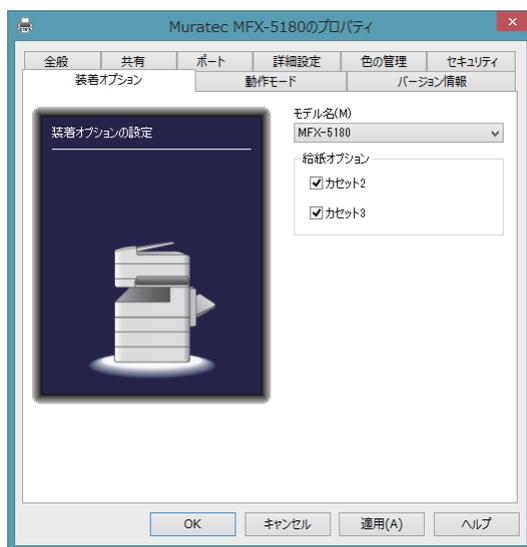
オプションを装着している場合は、プリンタードライバーでそのオプションを設定してください。

ここでは、Windows 10 の場合の操作方法を例に説明します。お使いの Windows のバージョンによっては、手順が若干異なります。

補足

プリンタードライバーの設定を変更するには、コンピューターの管理者または管理者に属するユーザーとしてコンピューターにログオンしてください。

- 1 「スタート」をクリックし、表示されたアプリの一覧から「Windows システムツール」をクリックします。
- 2 表示された一覧から「コントロールパネル」をクリックします。
- 3 「ハードウェアとサウンド」の中の「デバイスとプリンターの表示」をクリックし、デバイスとプリンター画面を表示します。
「ハードウェアとサウンド」は、表示方法を「カテゴリ」にすると探しやすいです。
- 4 「プリンター」より目的のプリンターアイコンを右クリックし、「プリンターのプロパティ」をクリックします。
本製品用のプリンタードライバーを2つ以上インストールしている場合は、「プリンターのプロパティ」を選択した後、目的のプリンタードライバーをクリックします。
- 5 「装着オプション」タブをクリックします。



画面は、MFX-5180 のプロパティ画面です。

- 6 装着しているオプションをすべて選択して、[OK] をクリックします。
「モデル名」から、プリンタードライバーを使用する機種を選択することもできます。

テストページを印刷する

プリンタードライバーが正しくインストールできたかどうか確認するために、テストページを印刷してください。

ここでは、Windows 10 の場合の操作方法を例に説明します。お使いの Windows のバージョンによっては、手順が若干異なります。

- 1** 「スタート」をクリックし、表示されたアプリの一覧から「Windows システムツール」をクリックします。
- 2** 表示された一覧から「コントロールパネル」をクリックします。
- 3** 「ハードウェアとサウンド」の中の「デバイスとプリンターの表示」をクリックし、デバイスとプリンター画面を表示します。
「ハードウェアとサウンド」は、表示方法を「カテゴリ」にすると探しやすいです。
- 4** 「プリンター」より目的のプリンターアイコンを右クリックし、「プリンターのプロパティ」をクリックします。
本製品用のプリンタードライバーを2つ以上インストールしている場合は、「プリンターのプロパティ」を選択した後、目的のプリンタードライバーをクリックします。
- 5** [全般] タブにある [テストページの印刷] をクリックします。

アンインストールする

アンインストールする場合は、Windows のプログラムのアンインストールから行います。

補足

ドライバーやユーティリティをアンインストールするには、コンピューターの管理者または管理者に属するユーザーとしてコンピューターにログオンしてください。

ここでは、Windows 10 にインストールしたドライバーの削除のしかたを説明します。お使いの Windows のバージョンによっては、手順が若干異なります。

- 1 「スタート」をクリックし、表示されたアプリの一覧から「Windows システムツール」をクリックします。
- 2 表示された一覧から「コントロールパネル」をクリックします。
- 3 「プログラム」の中の [プログラムのアンインストール] をクリックします。
- 4 アンインストールしたいドライバーやユーティリティを選択して、[アンインストール] をクリックします。
- 5 表示される画面の指示に従って、ドライバーやユーティリティをアンインストールします。

(空白ページ)

お問い合わせ窓口

■ 製品の仕様・取扱方法やアフターサービスに関するご相談

インフォメーションセンター

0120-610-917

※電話番号をお確かめのうえ、お間違えにならないようお願いいたします。

■ 消耗品のご注文・お問い合わせ

消耗品受付窓口

0120-176-109

※電話番号をお確かめのうえ、お間違えにならないようお願いいたします。

ホームページ <http://www.muratec.jp/ce/>

●この取扱説明書の内容に関しては、将来予告なしに変更することがあります。